

R4シリーズ 改版 & 機能アップ情報

掲載日： 2016/11/02

製品	減価償却R4, 減価償却応援R4	バージョン	16.20
件名	機能アップ対応版(Ver.16.20)リリースのご案内	発売予定	2016/12月上旬
		公開日	2016/12/08

詳細は、バージョンアップ後の「今回の変更点」にてご確認ください。

プログラム提供開始日（予定）

ダウンロード公開日 ※Eiボードダウンロードマネージャ、マイページ	2016年12月8日(木) (12/12公開停止し、Ver.16.20aを12/15公開します)
オプション CD保守契約 の場合の発送開始日	2016年12月22日(木) (変更)
バージョンアップ対象	Ver.16.10以降

電子申告対応版について

減価償却 R4/減価償却応援 R4の電子申告プログラム (Ver.16.2.e1) は、2017年1月5日に公開を予定しています。

なお、本体プログラムは現バージョンのVer.16.1では電子申告できません。

今後の対応予定について

システムの対応内容

■ 税務代理権限証書の新規追加（償却資産申告書添付用）

償却資産申告書への添付を目的とした地方税用の税務代理権限証書、および添付書面（第33条の2第1項、第33条の2第2項）に対応します。

■ 対応背景

今年1月の償却資産申告から個人番号・法人番号の記載が必要になり、ほとんどの提出先市町村において税理士が個人の申告書を紙で提出する際に、税務代理権限証書などの代理権確認書類の提出が義務付けられました。

■ 機能の概要

上記対応背景による提出を目的とした出力に対応します。

- ・提出先（償却資産申告書の提出地区）ごとの出力に対応します。
- ・電子申告出力には対応しません。

■ 種類別明細書：取得年月の任意出力に対応

種類別明細書（増加資産・全資産用/減少資産用）の「取得年月」欄に任意の年月を出力できるように対応します。

（現バージョンでは資産登録画面の「事業供用年月日」の年月を出力）

資産登録画面の償却資産設定に設定項目を追加します。

■ 資産検索：検索条件項目の追加

資産検索画面（資産一覧画面の[検索]）の検索条件項目に、償却資産設定画面（資産登録画面の[償却資産設定]）の次の項目を追加します。

- ・出力用の取得年月（今回追加項目）
- ・課税標準の特例率

■ 所得税 R4への連動の対応

所得税 R4システム（平成28年版以降）への減価償費却計算書データの連動に対応します。
（自動連動処理は、所得税 R4側で行います）

■ 会社基本情報：会社コードの使用可能文字の拡張

会社コードに使用できる文字（現在は半角英数のみ）に、半角記号を追加します。

「-」（ハイフン）や「*」（アスタリスク）などが使用可能になります。

ただし、「"」「&」「'」「,」「<」「>」「~」などの一部記号、および半角スペースは従来どおり使用不可文字となります。

今後の対応予定について

中小企業等の固定資産税の軽減措置（平成28年度税制改正）について

来年1月の償却資産申告から関係する税制改正内容です。

■ 改正内容の概要

中小企業者等が平成28年7月1日以降に取得した一定の機械装置(※)について、固定資産税（償却資産税）が3年度分、2分の1に軽減されます。

一定の機械装置(※)・・・次の条件に該当する機械装置

- ・ 取得価額が1台160万円以上（新品取得）
- ・ 販売開始から10年以内
- ・ 旧モデル比で生産性が年平均1%以上向上

なお、本特例を適用するには、経営力向上計画を策定し、国の認定を受ける必要があります。

■ システムでの設定方法

該当資産の償却資産設定画面（資産登録画面の[償却資産設定]）で、軽減措置適用期間の間は「課税標準の特例率」に「1/2」と設定します。

（「課税標準の特例率」の設定値は、翌期更新で繰越されます）

本改正に関するプログラム対応はありませんが、前述のとおり資産検索画面の検索条件項目に「課税標準の特例率」を追加して、特例率を設定している資産を検索できるように対応します。

コンバート

■ コンバート対象バージョン、および対象データ

減価償却 R4(Ver.16.1/16.2)へコンバートできるデータの対象は、旧製品の次のバージョンで作成したデータです。

減価償却：Ver.14.0、Ver.14.1、Ver.14.2、Ver.15.0

旧システム（InterKX減価償却／減価償却応援）	R4シリーズ	コンバーターリリース時期
Ver.14.0/14.1/14.2/15.0	Ver.16.1/16.2	2016年11月30日公開予定 (コンバーター：Ver.3.70)

コンバートは、Ver.16.1のデータ形式で行われます。

したがって、Ver.16.2でコンバートを実行した場合は、コンバート後に減価償却R4で該当データを選択したときに、

最初にVer.16.2用データへの旧データ変換処理が実行されます。